



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第556号

2022年7月18日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

生活保護業務で不適切な事務処理が発覚

7月12日、八千代市役所の1職員が「生活保護業務において不適切な事務処理」を行なったという事が、報道発表されました。

内容を確認すると、4つの事例はどれも「私文書偽造」にあたり、公務員としてやってはならないことでした。

1職員の怠慢と組織としてのチェック体制が不十分であったという事ですが、果たしてそれだけが原因なのでしょうか。日本共産党市議団は、この発表を受けて担当部長と課長に聞き取りを行いました。



生活保護利用者への不安と職員の信頼を失わせる

生活保護業務は「憲法25条の生存権」に則って「健康で文化的な最低限度生活を保障する」ための業務です。ですから、今回の事は「生活保護を受けなければ、最低限度の生活ができない、逼迫した方々に不安を与えてしまった」だけでなく、「正しく仕事をしてきている、多くの職員の信頼が失われる事件」でもあります。

担当部長や課長は、「対象職員が担当したもの全てを調査した」「原因の聞き取りをした」「再発防止策を行なった」ので、事件発覚から報道発表まで約3ヶ月経ったと述べています。

再発防止にあたって「チェック体制の強化」は当たり前のことです。「公務員としてのあるべき規律の確保」も当然のことです。研修などについての確認を行いました。その点については職員課へ一任しているようです。二度と同じ過ちを起こさぬよう、市民への信頼を失うことが無いように努めることを願います。

専門職員の採用と職員の増を

日本共産党市議団は以前から「正しい判断と処理を行うための専門的職員を重視した採用」と「職員の荷重負担を減らすための正規職員の増」を求めてきました。

特に福祉部門では、法律に則っての判断が求められますし、1ケースに何十枚と求められる書類作成もあります。コロナ禍において訪問のケースは減っているにしても、生活保護業務にあたって国が求める1職員80件より八千代市は多く担当しています。

今回の事件で、一人職員が減ったので早急に人員を増やすことが求められます。さらに言えば1ケースごとの生活状況の把握が求められる生活支援課であることから「専門性を持ち得た職員を配置」することを求めます。